

1. 「地域密着型金融推進」の基本方針

当行は、中小企業等への金融の円滑化を通じ、地域経済の活性化に貢献することが、地域密着型金融の本来のあり方と認識しております。

この考えのもと、第3次中期経営計画「し・ん・か」(平成20年度～22年度)では、「サポート機関との連携強化と品質の高い金融サービスの提供により、**地域経済の活性化に貢献する**」ことを地域密着型金融の推進にかかる基本方針として決めました。

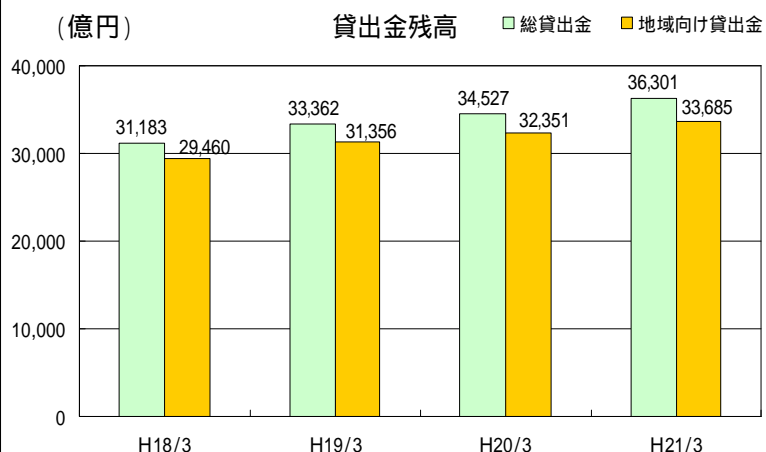
また、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」、「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」、「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」への取組みを中期経営計画の重点施策として盛り込み、中小企業等への積極的な貸出金の推進や経営改善支援等に取り組んでおります。

地域の定義

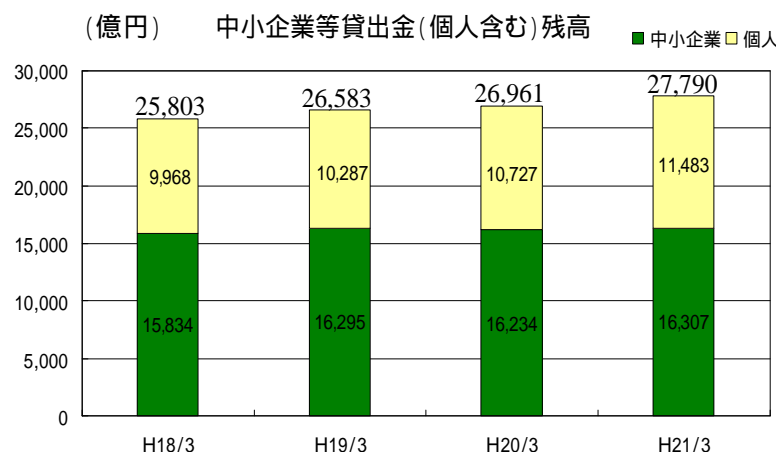
京都銀行は、本店を置く京都府とそれに隣接する滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県の二府三県において、地域に密着した営業を展開しております。当行の地域向け計数につきましては、京都府、滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県内各店舗の合計で開示しております。

2. 中小企業等への金融円滑化に向けた取組み状況

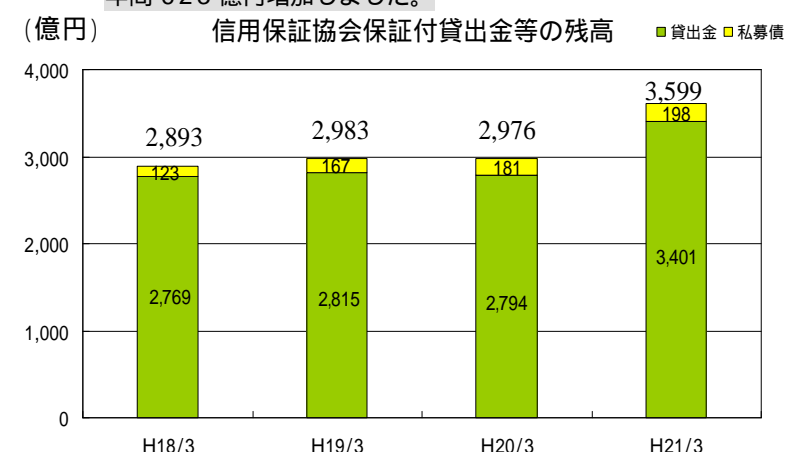
総貸出金の残高は36,301億円となり、着実に拡大を続けております。



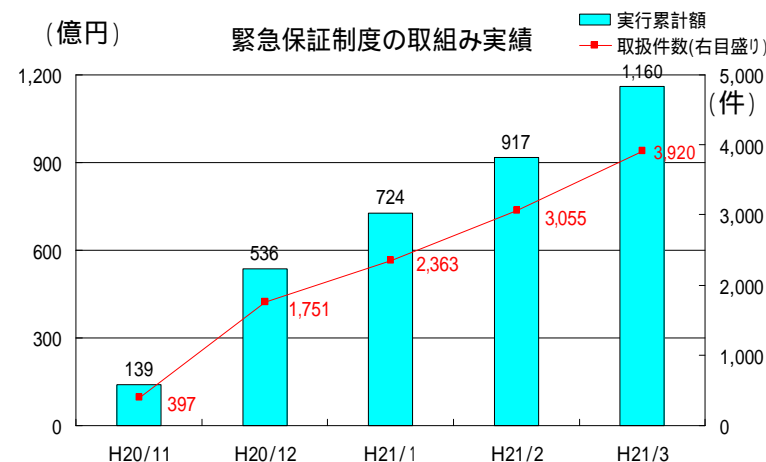
中小企業等に対する円滑な資金供給に努めております。



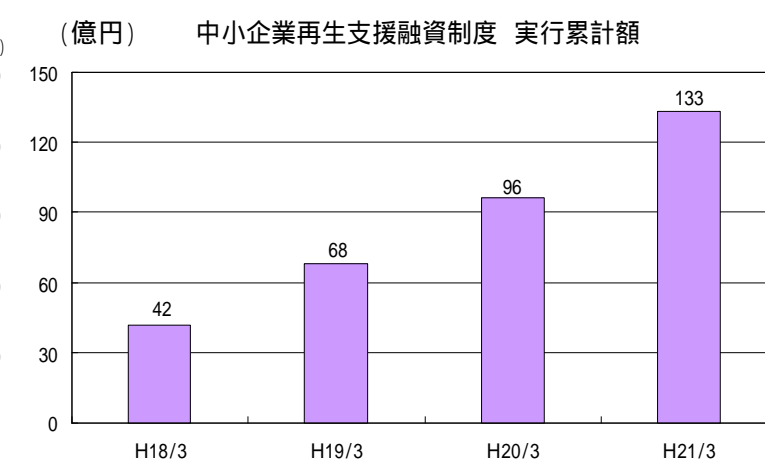
信用保証協会保証付貸出金等残高は3,599億円となり、年間623億円増加しました。



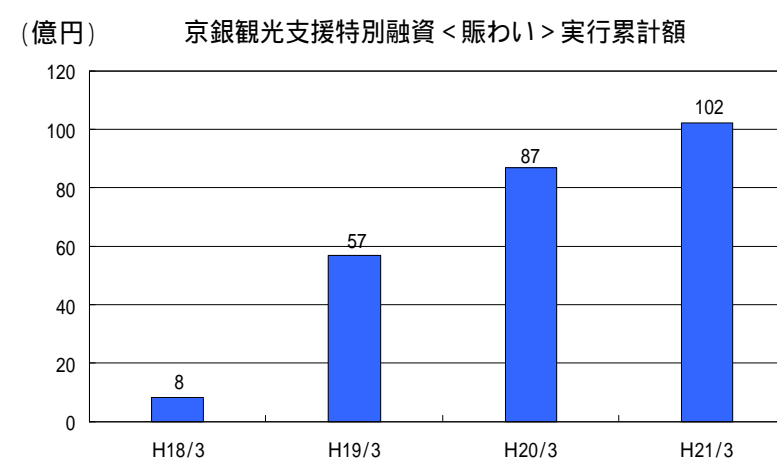
国の緊急経済対策の一環として創設されました「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」(全国緊急)の活用積極的に取組みを行いました。



「中小企業再生支援融資制度」を活用し、与信構成の是正や返済負担の見直し等を実施しております



観光産業、京都ブランド企業の支援等を通じて地域経済の活性化に取り組んでおります。観光支援特別融資の実行累計額は100億円を突破しました。



3. 平成20年度の主な取組み

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

ア. 経営改善支援

経営改善支援の取組みとして、地域経済全体の活性化には、地域の中核企業への経営支援・再生支援が必要不可欠となっております。景況感の悪化が特に著しい地域の中核企業に対し、コンサルティング会社の導入、抜本的な再生計画の策定、再生ファンドスキームの活用等の再生支援を行っております。加えて、地域住民に及ぼす影響が大きい医療業種に対する経営支援に着手し、「(医療業種向け)個別経営相談会」を年4回開催しました。

イ. 事業承継支援

事業承継支援の取組みとして、M&A業務については、事業承継等の相談を解決する手法の一つとして重要な位置付けとなってきており、同手法を活用した中小企業の経営支援を強化しております。行内におけるM&A情報の集約体制の構築、金融機関、コンサルティング会社、M&A専門会社等との情報交換体制を構築することにより全国規模の幅広いニーズを収集しております。後継者不足等の事業承継問題を抱えるお客様へのアドバイスや企業の成長戦略の支援を行いました結果、平成20年度のM&A成約実績は5件となりました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

ア. 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

平成20年4月に業種に精通した金融人材の育成を目的とした「業種別専門家育成研究会」を創設しました。研究会では、先端技術(バイオ・ナノテク・IT)、環境、電子部品・機械金属、医療・福祉、建設・不動産の10業種5グループについて、外部講師を招いての講義や工場見学を通じ、業種毎に専門知識の習得に向けた研修を行っております。企業の将来性・技術力等についての確に評価できる能力を身につけることを目的として「企業実態把握シート」策定全店コンテストを実施いたしました。シートの策定にあたっては、各営業店の法人営業担当者全員で取り組むことにより、実践のなかで、営業経験の浅い行員へのスキル・ノウハウの継承をはかっております。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ア. 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

観光産業の活性化に資する当行独自の取組みとして、法人部観光支援室を中心に以下の活動を展開し、地域経済の活性化につなげております。当行独自の観光関連事業者専用ローン「京銀観光支援特別融資<賑わい>」は平成17年12月の取扱開始以降、累計実行額が277件/102億円となり、資金面での地域活性化支援に取り組んでおります。平成21年1月~2月に京都府外の店舗で実施しました「京銀めぐり満喫定期預金キャンペーン」では、お客様に「京都定期観光バス」のクーポン券をプレゼントすることにより、京都観光の魅力を積極的にアピールしました。その他、本支店ロビーを活用した「京都観光写真展」を継続的に実施するなど観光客誘致に向けた活動を行っております。

イ. 地域活性化につながる多様なサービスの提供

環境問題への取組みが社会的に求められるなか、当行では環境保全に向けた取組みを更に充実していくため、平成20年8月に「環境委員会」の上部機関として「環境会議」を設置しました。あわせて、具体的な行動計画として、中期計画「第一次環境プラン」(平成20年度~24年度)、年度計画「環境プログラム」(平成20年度・平成21年度)を策定し、CO₂排出量の削減等に取り組んでおります。具体的には、環境に配慮した店舗づくり(屋上緑化、太陽光発電設置、LED照明の採用等)、森林保全への取組み(エコ関連商品の取扱高に応じた「森林づくり基金」への寄付、「日本の森を守る地方銀行有志の会」の設立等)、環境関連融資商品の推進等の取組みを行っております。

「平成20年度 地域密着型金融」の取組み状況

4. 具体的な取組み内容

項目	平成20年度の実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援	ベンチャーファンド投資の推進 「京銀生き生きベンチャー支援ネットワーク」を活用した投資先・取引先支援 ・20年度は合計3回(第7・8・9回)の会合を開催 (独)中小企業基盤整備機構近畿支部, 京都商工会議所, (株)大阪証券取引所が主催する「IPO京都塾2008」に、パネラーとして参加 「同志社ベンチャーファンド」へ出資(1億円)	【投資実績】 ・ 2先 / 50百万円 【創業・新事業支援融資実行額】 ・ 36件 / 304百万円
(2) 経営改善支援	取引先とのリレーション強化による経営悪化兆候の早期発見、早期対応 ・「ランクアップ工程表兼モニタリング管理表」を活用し、本部・営業店が一体となってモニタリング管理を実施 自社の現状把握および経営者の意識改革への支援 ・個別経営相談会の継続実施と対象範囲の拡大 ・【個別経営相談会参加先数 42先】 (うち、京都府北部地域での相談会 6回開催・16先参加) (うち、医療業種向け相談会 4回開催・5先参加) 改善計画策定支援 ・中小企業再生支援協議会の活用による計画策定支援 (再生支援協議会活用実績 20年度 9先、累計30先) ・改善計画策定支援を目的とした営業店に対する「金曜営業店相談室」を開催 ・コンサルティング会社導入による改善計画策定支援 (コンサルティング会社導入先 20年度14先、累計54先)	【経営改善支援取組み率】 ・ 3.09% 経営改善支援取組み先数(正常先除く)244先 / 期初債務者数(正常先除く)7,900先 【債務者区分ランクアップ率】 ・ 25.4% ランクアップ先数(正常先除く)62先 / 経営改善支援取組み先数(正常先除く)244先 なお、「中小企業向け融資の貸出条件緩和が円滑に行われるための措置」に基づく条件緩和債権の判定基準の変更の効果を除くランクアップ先数は19先、ランクアップ率は7.8%であった。 【計画策定率】 ・ 65.5%(累計) 再生計画策定先数(正常先除く)160先 / 経営改善支援取組み先数(正常先除く)244先
	取引先情報を活用したビジネスマッチングの推進 ・ビジネスマッチングサービス提携先の拡大(累計25社) 中国進出企業等との関係強化を目的に中国・上海にて「上海で出会う京都の和」開催	【ビジネスマッチング成約 105件】 (有償 34件) (無償 71件)
(3) 事業再生	抜本的企業再生に向けた支援強化 ・中小企業再生支援融資制度の活用による与信構成の是正、金融機関協調支援体制の整備 ・再生ファンドの活用による早期再生支援 ・再生ファンドからのイグジット資金の支援 地域の中核企業に対する抜本的な再生支援の取組み強化 ・景況感の悪化が著しい地域の中核企業に対する集中的な再生支援の継続実施 再生企業に対する新たな資金供給手法の取組み ・外部の動産鑑定評価を活用して在庫(日本酒等)を担保としたABLの取組み	【中小企業再生支援融資制度】 ・実績 37先 / 36.5億円 (累計116先 / 133億円) 【再生ファンドの活用実績】 ・ 1先

「平成20年度 地域密着型金融」の取組み状況

項目	平成20年度の実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
(4) 事業承継支援	事業承継業務の積極展開 ・事業承継セミナーの開催 ・大手信託銀行ヘトレーニ - 1名派遣 (平成21年1~3月) M & A 業務の強化 ・「M & A 勉強会 (5回シリーズ)」の開催 ・大手証券会社ヘトレーニ - 1名派遣 (平成21年1~3月)	【M & A 成約件数 5件】
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組み、多様な手法を用いた資金供給	無担保第三者保証人不要の融資商品を推進 ・個人事業主向けビジネスカードローンの取組み検討 中小企業の資金調達手法の多様化 ・信用保証協会の保証制度「流動資産担保融資保証制度 (ABL)」を活用。酒造業者に対して「日本酒等」を担保にし、融資枠を設定 (1先 / 150百万円) ・売掛債権流動化業務の中小企業への推進	【無担保第三者保証人不要の融資商品残高】 ・938億円 (20年度末) 【動産・債権譲渡担保融資実績】 ・55件 / 1,902百万円 (うち売掛債権担保融資 50件 / 1,678百万円) (うち動産担保融資 5件 / 224百万円)
(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み	業種に精通した金融人材の育成を目的とした「業種別専門家育成研究会」の創設 【構成人員：総勢50名 / 半期】 ・業種別専門営業部行員13名、審査部行員11名、本部行員3名、営業店行員23名 【業種構成：10業種5グループ】 ・先端技術 (バ材・ナテク・IT)、環境、電子部品・機械金属、医療・福祉、建設・不動産 【活動内容】 ・企業・施設見学... 8回、講義... 38回、業界見本市視察... 4回 (5グループの累計) 「企業実態把握シート」策定全店コンテストの実施 目利き・経営支援等のノウハウ習得を目的とした地銀協派遣研修への参加 ・「法人取引開拓研究講座」... 2名 ・「中小企業経営支援講座」... 2名 ・「法人向けソリューション営業実践講座」... 2名 ・「金融業務講座 ~ 事業承継支援実践コース ~ 」... 1名 ・「ABL実務対応コース」... 1名 外部派遣研修への参加 ・「企業調査講習会」... 1名	

「平成20年度 地域密着型金融」の取組み状況

項 目	平成20年度の実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み	観光・京都ブランド企業向け専用商品「京銀観光支援特別融資＜賑わい＞」による資金支援 「京銀京めぐり満喫定期預金キャンペーン」(平成21年1～2月)の実施による京都観光支援 観光産業活性化に資する当行独自の取組み ・源氏物語千年紀、丹後天橋立大江山国定公園等を題材にした展示内容にリニューアルし、「京都観光写真展」を継続開催(86カ店) 阪神エリアの新設店を中心に「祇園祭ロビーアクション」、「源氏物語千年紀ロビーアクション」、「京都・圓徳院屏風展」を開催。 「京銀ビジョン」による観光情報の放映(18種類放映)	【京銀観光支援特別融資実績】 ・ 46件 / 15.2億円 (累計277件 / 102億円)
	地元金融機関、保証協会等で構成する「京都再生ネットワーク会議」を通じ、面的再生に向けての連携を強化 地域における再生担当者のネットワーク拡大 ・ 中小企業診断士会、地元監査法人との連携	
(2) 地域に対する金融経済教育の取組み	資産運用セミナー開催による顧客の裾野拡大と情報提供サービスの拡充 ・ 381回開催、9,830名参加 京都市スチューデントシティ事業への協力 京都府、大阪府に続いて、滋賀、奈良、兵庫の3県で「子育て応援事業」に参加 「京都こどもモノづくり」事業への協力	

「平成20年度 地域密着型金融」の取組み状況

項目	平成20年度の実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
(3) 環境保護への取組みによる地域貢献活動	<p>「環境委員会」の上部機関として「環境会議」を設置 「第一次環境プラン」(平成20年度～24年度)、「平成20年度・21年度環境プログラム」策定 平成21年4月より「環境問題を考える日」として「環境の日」を制定 ・各部店には「環境責任者」を設置(21年3月)</p> <p>金融支援を通じて環境問題への取組みを促進 ・地方銀行による「グリーン電力証書」の共同購入(「地銀住宅ローン共同研究会」企画)</p> <p>環境にやさしい店舗づくり ・本店4階テラスにて屋上緑化を実施 ・木津支店・新築移転店舗は屋上緑化に加え、省エネタイプの空調機器を選定 ・太秦安井支店に太陽光発電設置 ・園部支店で間伐材を使ったサインやベンチの設置・ロビーにLED照明を採用 ・富野荘支店、西京極支店において室内照明にLED蛍光灯を採用</p> <p>○森林保護への取組み ・「京都モデルフォレスト協会」の「森林づくり基金」に対する寄付決定 (用紙類購入代金およびエコ関連商品の取扱高により寄付金額を算出) ・京都モデルフォレスト協会の活動への積極参加 ・「京銀ふるさとの森」の維持管理(除草作業を実施) ・「日本の森を守る地方銀行有志の会」設立 (平成21年4月30日現在 57行が加盟)</p> <p>ペットボトルのキャップ回収運動を開始 ・リサイクルメーカーに対する売却金の寄付により、開発途上国へのポリオワクチンを寄贈 近畿経済産業局と連携した「環境ビジネスセミナー」の開催 「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」への出展(20年11月)</p>	<p>【事業先向け環境融資等の実績】 ・エコローン 13件 / 5.7億円 ・エコ私募債 22件 / 30.8億円</p> <p>(取扱累計) (エコローン 113件 / 75億円) (エコ私募債 60件 / 86億円)</p>
4. 利用者からの評価を適切に反映するための態勢整備	顧客ニーズ・情報収集のための「事故・苦情・お客様の声報告」システムを活用した情報収集とそれによる新商品・サービスの提供及び改善の実施	

以上